

会 議 名	令和元年度 第3回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	令和元年10月23(水) 午前10時～12時まで
開 催 場 所	芝公園区民協働スペース 会議室1
委 員	(出席者) 鬼沢座長、猿子委員、福吉委員、木原委員、関根委員、山田委員、大駒委員、西川委員(代理 田岡産業振興係長)、中林委員、重富委員 (欠席者) 櫻林委員、茂木委員
事 務 局	福田係長、藤野、鈴木
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	～報告事項～ ① 「みなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数について ② 寄稿文(案)の内容報告 ③ フードドライブの実施状況 ④ 親子向けエコ料理教室にかかる進捗報告 ⑤ 海洋プラスチックごみ対策事業にかかる啓発品作成報告 ～検討事項～ ⑥ 「みなとごみハッピー大作戦!」について 1. パネル展示会(展示物の内容について) 2. 3Rサタデー(子供向け講座及びワークショップの内容について) ⑦ 「リユース♡ブリッジ」について
—主な発言・報告内容—	
<p>1、意見交換</p> <p>～報告事項～</p> <p>① 「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数について</p> <p>(事務局) HP閲覧状況とSNS更新回数(8-10月のTwitterとFacebook活動)について報告。海洋プラスチックの投稿へのアクセス割合が高い。Twitterフォロワー数が800前後で推移しており、前回会議よりは減少した。投稿内容はエコレシピの紹介、海洋プラスチックの問題提起、イベントの紹介などであった。</p> <p>&lt;補足&gt;フォロワー数が前回より減少しており、みなと区民まつりでの周知による回復をはかるも、イベント自体が中止になった。</p> <p>●主な発言</p> <p>なし</p> <p>② 寄稿文(案)の内容報告</p> <p>(事務局) 寄稿文の内容案について説明。食品ロスに関する寄稿文については、食品ロス問題専門家の井出氏に、SNSの投稿形式に対応した字数で記事の執筆を依頼した。SNS以外にも、港区HP</p>	

や広報みななどにて掲載を予定している。また、年明け掲載を目指して、SDGs については、一般社団法人エシカル協会 末吉氏に執筆を依頼予定。

### ●主な発言

なし

### ③ フードドライブの実施報告

(事務局) これまで開催されたフードドライブの実施結果(未利用食品の回収量)について報告。公式 HP にも実施結果について掲載する予定。現時点でも本取組に対する問い合わせが多数ある。以下、今後のフードドライブの実施予定。

日時	場所(イベント名)
1/10/26(土) 午前	芝浦港南区民センター 芝浦港南区民センターまつり
1/12/26(木)	青山児童館
2/2/8(土)	みなとパーク芝浦

### ●主な発言

- ・区民以外にも、飲食店から回収するフードドライブを実施してはどうか。事業者からの未利用食品の対応は、管轄が異なるかもしれないが、区内の小規模のカフェ、飲食店から、未利用の生鮮食品も回収できないか。(委員)
  - 現在は基本的に区民のみから、賞味期限が長い缶詰やインスタントラーメンなどを回収している。冷蔵庫の管理など、ハード面の整備が難しいため、生鮮食品も回収項目に加えるのは困難である。(事務局)
  - 区が運営しているものではないが、飲食店で余った料理や食品を安価で消費者に販売するためのマッチングアプリがある。(事務局)
  - 事業者に向けて、そのアプリの存在を周知できるような取組が望まれる。(委員)
- ・より多くの区民に、未利用食品を回収している拠点の存在を、もっと周知する必要がある。(座長)
- ・家庭から、賞味期限の有効期限が2か月以上ある未利用食品を提供するのは、困難ではないか。(委員)
  - 2か月以上も賞味期限があれば消費してほしいし、ローリングストックをすれば未利用食品を減らすことができる。(委員)
  - これから回収量が増えてくると、保管場所の問題も出てくるのではないか。(座長)
  - まずは、家庭で食品を消費してもらうということが大前提である。区民に、所管課を通じて、回収した食品を配れるような仕組みが出来れば、セカンドハーベスト・ジャパンに食品を送付しなくてもよくなり、提供するまでの期間が短くなる。(委員)
- ・区の中で、社会福祉協議会などと協力できれば、もっと提供するまでの期間が短くできるかもしれない。区内で消費できることが望ましい。(座長)

#### ④ 親子向けエコ料理教室にかかる進捗報告

(事務局) 親子向けエコ料理教室の進捗や、食品ロス削減推進を目的に戸板女子短期大学と連携協定締結について報告。協定内容は、以下の三つである。

1. 学生有志による冷蔵庫の余剰食材の調査 (区が普及啓発する際の材料にする)
2. 余剰食材レシピコンテスト (スイーツレシピを1か月間募集。最優秀賞に選ばれたものを親子向けエコ料理教室で採用) の実施
3. 親子向けエコ料理教室の実施

次回会議で実施結果を報告する。

#### ●主な発言

- ・防災にも関わるが、備蓄食糧 (特に乾パン) が余ってしまうことが問題であり、食べて消費することが必要である。区がモデルとなることが望ましい。(座長)
- ・他の区内にある大学にも声を掛けて、大学対抗でレシピコンテストを開催する等、たくさんの若者に参加してもらい取り組みも一つの方法である。(委員)
- ・学園祭などで、レシピに基づいて調理した料理の試食をし、参加者に投票してもらいもいいのではないか。(委員)

#### ⑤ 海洋プラスチックごみ対策事業にかかる啓発作成報告

(事務局) 紙製ストローの現物を委員に配布し、区が行っている海洋プラスチックの取り組みについて説明。報告事項は下記の通り。

- ・区有施設内のカフェで、実際に使用している。
- ・スマートバッグのデザインが決定した。スマートバッグは、10月末に納品され、外袋にビニールは使用せず、紙帯で包装を予定している。
- ・プラスチックを賢く使っていく「プラスチックスマート」を啓発したパネル (全7枚) を作成した。毎年小学生が、港清掃工場の施設見学をするので、そこにパネルを常設し、意識を持ってもらえるよう啓発を行う予定である。

#### ●主な発言

- ・啓発パネルを各支所に展示してはどうか。清掃工場のみでの展示では見る人が限られる。(委員)  
→啓発パネルは、ウェブ上での公開と、冊子にまとめた形での配布を検討中である。(委員)  
→支所に展示しておけば、訪れた時にパッと見られるのではないか。(座長)  
→関連している施設の場所 (支所にある資源回収ボックスの付近など) にパネルを展示すると、来庁者の目に留まるのではないか。(委員)  
→パネルを展開していく方策として、検討していく。(委員)
- ・事業者側への啓発も必要ではないか。スーパーではレジ袋が必要か聞いてくれるが、コンビニやデリバリーでは、気づけばプラスチック製品が付けられていて、断るのが難しい場合が多く、い

つの間にかたくさん集まってしまう。(例：レジ袋、プラスチック製容器・スプーン・・・フォーク等) (委員)

→消費者から、断る勇気も必要である。(委員)

→3R+refuse(リフューズ)の4Rを啓発している自治体もある。食品ロス削減推進法等の制定により、事業者の責任が追及される風潮になっているため、事業者と消費者の双方に意識づけが必要だと思う。今回のスマートバックは、コンビニで買う弁当等を入れるのにちょうどいいサイズなので、スマートバッグを通してマイバッグを浸透させたい。

(委員)

→私の家の近くのスーパーは、マイバッグを持参すると購入金額から2円引いてくれる。そんな事業者の取り組みも浸透してきた。(委員)

- ・パネルの内容は子ども向けだが、大人向けの情報発信にも触れているので、(パネルにも盛り込んである)地域の清掃活動の案内を合わせて行えば、参加してくれる人もいるのではないか。
- ・パネルの最後などにURLやQRコードを載せてはどうか。(委員)
- ・区内のいろいろな場所で、このパネルを見てもらえると良い。(座長)

#### ～検討事項～

#### ⑥ 「みなとごみゼロハッピー大作戦！」について

(事務局) 令和元年度1月25日(土)より開催される「みなとごみゼロハッピー大作戦！」について、期間中のスケジュールなどの報告があった。

会場は例年エコプラザ開催だったが、工事のため今年はみなとパーク芝浦で開催する。パネルの設置場所は、会場確保の関係上分散することになった。

##### <企画案>

企画案について、以下の点について検討を行った。

- ・議論1：何をメインテーマに啓発を行うべきか(去年は食品ロス、海洋プラスチックなど)
- ・議論2：企画のデザイン上で意識すべき点

#### ●主な発言

##### 1. パネル展示会(展示物の内容について)

- ・海洋プラスチックのパネルができたので、今年も海洋プラスチックがテーマで良いのではないか。(座長)
- ・内容を盛りだくさんにするよりも、区として推進したいことに焦点を絞った方が良い。(委員)
- ・マイクロプラスチックの実物を展示してはどうか。(座長)
- ・パネルの設置場所が分散することなので、他のブースにも立ち寄ってもらえるような誘導方法を考えてはどうか。また、3Rの取組とプラスチックスマートの取組がどのように連動しているのかを関連付けた方が良いのでは。具体的な対策が3Rのうちどれに該当し、どんな効果があるか

を紹介する方法が、理解や行動に結びつくのではないか。(委員)

→海洋プラスチックの啓発用パネルに掲載している3Rの取組を、掲示するとわかりやすくなるのではないか。(委員)

- ・みなと区民まつりのために用意したものを活用してはどうか。また、説明する人員を配置するなど、みんなで協力して常駐・当番制にして、しっかり啓発していくことが重要だと思う。

(委員)

→スタンプラリーを実施し、余ったグッズをプレゼントしてはどうか。区民まつりで用意したものをここで活用したい。参加のインセンティブとして使える。(委員)

→昨年度も同様のご意見があったため、街頭普及啓発も含め、パネルの側で1時間ほどティッシュ配りをした。説明する人員の配置については検討したい。(事務局)

- ・パネルに記載されている海洋プラスチックの量について、世界で何億トン、と言われると規模が大きすぎて自分事としてとらえられない。1家庭、1店舗からどれだけ出ているかを表示できれば身近な問題として考えられるのではないか。(委員)

→山田委員にご協力いただき、1か月でレジ袋やプラスプーンがどれだけ集まったかなど調査するのもいい。また、プラスチック容器等やレジ袋を断った生活と、断らないで過ごす生活の2パターンでのプラスチックの量の違いなどを展示してはどうか。(座長)

→世界中で、1分あたりごみ収集車15台分のプラスチックごみが捨てられているという報告がされた。なるべく身近な数値で伝えられたら良いと考えている。(事務局)

- ・海洋プラスチックを減らすために、具体的に「今日からやります!」という宣言を書いて、その場で貼ってもらう(例:ハート形のふせんに宣言を書いてもらって、カメや魚が描かれた台紙に貼る。カメや魚が「私たちの海を守ってくれてありがとう!」というセリフを入れる)取り組みは、良い啓発になると思う。(委員)

## 2. 3Rサタデー(子供向け講座及びワークショップの内容について)

- ・ワークショップを「ルボダーンづくり」「牛乳パックで竹とんぼ」「ふろしき活用術」「新聞紙でその他再生可能紙入れ用袋・防災スリッパづくり」「ペットボトルでけん玉づくり」又は新しいアイデアがあればそれ以外で、3つテーマを決めていただきたい。(事務局)

- ・段ボールは、リサイクルが可能ということを啓発したい。また、「その他再生可能紙」をアピールするのであれば、お菓子の箱をカラフルに小物入れ等にデコレートするようなワークショップも実施できると良い(委員)

- ・ふろしきはマイバックの原点なので是非やりたい。結び方がわからない人が多いので、そこからレクチャーしたい。1枚の布で何でもできることを啓発したい。(委員)

- ・「その他再生可能紙入れ用袋」を引き続き実施し、「その他再生可能紙」はどんな紙のことかを、レクチャーしてはどうか。紙箱・お菓子の箱を利用した工作とセットでワークショップ出来たらより良いかもしれない。子どもに、お菓子の箱から何が作れるかを、考えてもらえると楽しいかも

しれない。また、子どもは動きがあるものがあるので、昨年度実施した、「ペットボトルのけん玉」づくりは良かったと思う。(委員)

→紙箱はあらかじめ工作用にたたんでおくのではなく、そのままの状態でも子どもに渡しておき、分別する際のたたみ方を合わせてレクチャーしてはどうか。(座長)

→紙箱をたたまずに入れた場合のごみ袋、たたんで入れた場合のごみ袋を双方展示するとわかりやすいと思う。(委員)

→上記に関して【見る→実際に捨てる】の流れが必要かもしれない。(委員)

#### 【確定事項】

①その他再生可能紙(お菓子箱)を利用した工作及びその他再生可能紙入れ袋、②ペットボトルでけん玉づくり、③ふろしき活用術、に決定。

#### ⑦ リユース♡ブリッジ開催報告

(事務局) 昨年度実施結果とアンケートについて報告。参加者は女性が80%以上、世代が子育て世代、属性としては在勤の方が大半を占めた。イベントは広報みなどや公式HPが圧倒的多数だった。参加理由は「新しい服が欲しい」「子ども服を捨てるのがもったいない」が多く、全体の感想では「良い取り組みだが、持ち帰れる点数が少ないことが残念」という意見が見られた。3Rについて知らなかった、知っていたがよくわからなかった参加者が半分ほどあり、寄せられた意見から、ルール複雑さや、開催頻度の増加などを訴える意見が多くみられた。

#### ●主な意見

- ・ここでも3Rのパネルを展示し、部間の空き時間に見てもらえると良いのではないかと。またQRコードを見やすい場所に掲示して、次回イベントの情報を周知ができれば、効果的ではないかと。(委員)

#### ⑧ 事務局からのお願い

パネル展についてに出展していただける団体・事業者があれば、清掃事務局まで連絡いただくようお願いがあった。(事務局)

#### 2、その他

##### ○次回日程について

後日、日程調整を行い決定することとする。